

- 問1 1919年のパリ講和会議において、第一次世界大戦の戦後処理としてドイツとの間に結ばれた条約の名称を記す空欄を含む資料があります。この空欄に入る名称と、その条約が敗戦国であるドイツに課した具体的な内容の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. ポツダム宣言：軍隊の無条件降伏と軍国主義の除去 | 2. ベルサイユ条約：領土の割譲、多額の賠償金の支払い、軍備の制限 | 3. ワシントン条約：海軍の主力艦の保有制限と太平洋の現状維持 | 4. サンフランシスコ平和条約：日本の独立承認と主権の回復 |
|----------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
- 問2 大正デモクラシーの時期には、社会の不平等を解消しようとする様々な社会運動が活発化しました。この時期に結成された全国水平社の活動背景と目的を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 民主主義的な風潮の中で人権意識が高まり、被差別部落の人々が団結して差別の解消と人間の尊厳回復を目指した。 | 2. 明治政府による「解放令」が発布された直後、政府主導で旧来の身分制度を完全に撤廃するために設立された。 | 3. 経済不況により経営が悪化した財閥が、労働力を確保するために被差別部落の人々の雇用を促進することを目的とした。 | 4. 自由民権運動の広がりを受け、士族が自らの特権を維持しながら他階級との交流を図るために組織した。 |
|---|---|---|--|
- 問3 近代日本の略年表において、1925年は大きな転換点として記されます。この年、満25歳以上の男子に選挙権を与える「普通選挙法」が制定された一方で、社会主義や共産主義などの運動を厳しく取り締まるために制定された法律として正しいものを選択してください。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 大政翼賛会 | 2. 国家総動員法 | 3. 治安維持法 | 4. 治安警察法 |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問4 1918年の米騒動では、政府が軍隊を出動させて鎮圧にあたる事態となり、時の寺内正毅内閣は責任をとって退陣しました。その後、日本で初めて本格的な政党内閣を組織し、「平民宰相」として国民に期待された人物は誰ですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| 1. 犬養毅 | 2. 板垣退助 | 3. 原敬 | 4. 加藤高明 |
|--------|---------|-------|---------|
- 問5 シベリア出兵による米の価格高騰をきっかけに発生した米騒動の結果、当時の内閣は総辞職に追い込まれました。その後に組織された内閣の説明として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 加藤高明が首相となり、全ての成人男性に選挙権を認める普通選挙法を成立させ、民主主義の徹底を図った。 | 2. 桂太郎と西園寺公望が交互に政権を担当する「桂園時代」が始まり、軍部が政治を主導する体制を整えた。 | 3. 華族の出身ではない原敬が首相となり、陸・海・外相以外の閣僚を政友会で固める本格的な政党内閣を組織した。 | 4. 板垣退助が中心となって結成された自由党が政権を握り、日本で最初の政党内閣を誕生させた。 |
|--|---|--|--|
- 問6 1910年代の大正デモクラシー期において、吉野作造が雑誌に発表した論文の中で提唱し、その後の政党政治や普通選挙運動の理論的支柱となった政治思想はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 自由民権運動 | 2. 社会主義 | 3. 民本主義 | 4. 国家主義 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問7 第一次護憲運動において、憲政を無視する内閣を議会で厳しく糾弾し、後に「憲政の神様」と呼ばれた人物は誰ですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 尾崎行雄 | 2. 板垣退助 | 3. 桂太郎 | 4. 吉野作造 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問8 19世紀末から20世紀前半にかけて、都市化の進展や教育の普及を背景に、多くの人々が共通の娯楽や情報を享受する「大衆文化」が発展しました。この時期の日本において、1925年に放送が開始され、新聞や雑誌とともに新しい情報の伝達手段として大きな役割を果たしたものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|---------|----------|
| 1. インターネット | 2. テレビ放送 | 3. 衛星放送 | 4. ラジオ放送 |
|------------|----------|---------|----------|
- 問9 1925年、加藤高明内閣は普通選挙法を成立させる一方で、ある法律を同時に制定しました。この二つの法律が同時に進められた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 天皇の権限を強化しつつ、議会政治の形式を整えることで国際的な批判をかわすため。 | 2. 選挙権の拡大による社会主義運動の活発化を警戒し、政府に批判的な運動を厳しく取り締まるため。 | 3. 地方自治の強化と、都市部への権限集中をバランスよく進める必要があったから。 | 4. 経済不況に対応するため、産業の合理化と労働者の保護を同時に行う必要があったから。 |
|--|--|--|---|
- 問10 大正時代、民衆が憲法にもとづく政治を求めて国会議事堂を取り囲むなどの行動を起こした結果、退陣することになった当時の内閣総理大臣は誰ですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 1. 加藤高明 | 2. 原敬 | 3. 伊藤博文 | 4. 桂太郎 |
|---------|-------|---------|--------|
- 問11 第一次世界大戦による「大戦景気」の影響で、日本は国際的な経済的地位をどのように変化させましたか。当時の背景とあわせて、最も適切なものを選んでください。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 重工業製品の輸入が困難になったため、鎖国に近い経済体制へと移行した | 2. 多額の借金がある債務国から、他国に資金を貸し出す債権国へと転じた | 3. 国内の物資不足により、食料品の輸出を全面的に禁止する措置をとった | 4. 輸出が伸び悩んだため、政府が外国から多額の借金を行う債務国となった |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問12 原敬が組織した内閣が、それ以前の内閣と異なり「日本初の本格的な政党内閣」と呼ばれる理由として、その組織構成の特徴を説明したものを選べ。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 自由民権運動の指導者たちを集め、藩閥の枠組みを完全に取っ払った民間主導の内閣を組織したため。 | 2. 衆議院議員選挙法を改正し、すべての満25歳以上の男子に選挙権を与える普通選挙制度を導入したため。 | 3. 天皇の直接の指名ではなく、衆議院議員による直接選挙によって内閣総理大臣が選出されたため。 | 4. 陸軍・海軍・外務大臣以外のすべての閣僚を、衆議院の第一党であった立憲政友会の会員で組織したため。 |
|---|---|---|---|
- 問13 原敬が組織した内閣の特徴やその構成について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| 1. 日本で初めての政党内閣であり、大隈重信が憲政党を率いて組織した。 | 2. 米騒動を鎮圧するために、軍部が中心となって組織された超然内閣であった。 | 3. 五・一五事件によって首相が暗殺されるまで続いた、最後の大正デモクラシー期の内閣であった。 | 4. 立憲政友会を基盤とし、閣僚の多くを衆議院に議席を持つ政友会で構成した。 |
|-------------------------------------|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ベルサイユ条約：領土の割譲、多額の賠償金の支払い、軍備の制限	パリ講和会議で結ばれたベルサイユ条約は、第一次世界大戦の敗戦国ドイツに対して非常に厳しい条件を課しました。フランスなど戦勝国の意向が強く反映され、ドイツは一部の領土を割譲し、天文学的な額の賠償金を支払う義務を負ったほか、将来的な脅威を取り除くために軍備も厳しく制限されました。サンフランシスコ平和条約やポツダム宣言は、第二次世界大戦に関連する歴史的事項です。
問2	答え 1 民主主義的な風潮の中で人権意識が高まり、被差別部落の人々が団結して差別の解消と人間の尊厳回復を目指した。	大正デモクラシーの広がりとは、普通選挙運動や労働運動、女性解放運動など、立場の弱い人々が声を上げる契機となりました。その中で、江戸時代からの厳しい差別が明治以降も実質的に続いてきた状況を打破するため、被差別部落の人々が自発的に組織を作りました。これは単に政府に改善を求めるだけでなく、自らの力で誇りを取り戻そうとする画期的な動きでした。
問3	答え 3 治安維持法	1925年の加藤高明内閣において、国民に参政権を広げる「普通選挙法」と、思想を統制する「治安維持法」がセットで制定されました。これは、選挙権の拡大によって社会主義などの思想が広がることを政府が警戒し、民主化を進める一方で体制への反抗を抑圧しようとした「アメとムチ」の政策と言えます。類似の名称である治安警察法は、1900年に政治活動や労働運動を制限するために制定された別の法律です。
問4	答え 3 原敬	米騒動を武力で抑え込もうとした寺内内閣が国民の批判を浴びて倒れた後、立憲政友会の総裁であった原敬が内閣総理大臣に任命されました。原敬は爵位を持たない衆議院議員であったため「平民宰相」と呼ばれ、陸軍・海軍・外務大臣以外の閣僚を所属政党から選ぶ「本格的な政党内閣」を初めて実現させました。これは大正デモクラシーの動きを象徴する出来事となりました。
問5	答え 3 華族の出身ではない原敬が首相となり、陸・海・外相以外の閣僚を政党员で固める本格的な政党内閣を組織した。	米騒動の責任をとって寺内正毅内閣が退陣した後、立憲政友会の総裁であった原敬が内閣を組織しました。原敬は爵位を持たない衆議院議員であったため「平民宰相」と呼ばれ、陸軍・海軍・外務大臣以外の全閣僚を自党の党员から選ぶという、本格的な政党内閣を実現させました。
問6	答え 3 民本主義	1916年（大正5年）、吉野作造は雑誌『中央公論』において、政治の目的は民衆の利福（幸福）にあり、政策の決定は民衆の意向に従うべきであるという「民本主義」を提唱しました。これは、当時の藩閥政治を批判し、議会政治を求める民衆の動きに理論的な根拠を与えました。
問7	答え 1 尾崎行雄	尾崎行雄は大義毅とともに護憲運動をリードし、議会で桂太郎内閣を批判する名演説を行いました。彼は長年にわたって衆議院議員を務め、日本の議会政治の発展に大きく寄与したことから「憲政の神様」と称えられています。一方、吉野作造は民本主義を唱えて大正デモクラシーの理論的支柱となった学者であり、板垣退助は明治時代の自由民権運動を指導した人物です。
問8	答え 4 ラジオ放送	大正時代から昭和初期にかけて、都市部で働くサラリーマン（事務系労働者）や女学生が増加し、教育の普及によって多くの人が文字を読むようになったことで、新聞や雑誌といった印刷メディアが普及しました。さらに、1925年にはラジオ放送が開始されたことで、音声を通じてニュースや娯楽がリアルタイムで全国に届けられるようになり、人々の生活様式に大きな影響を与えました。テレビ放送の普及は第二次世界大戦後の高度経済成長期のことです。
問9	答え 2 選挙権の拡大による社会主義運動の活発化を警戒し、政府に批判的な運動を厳しく取り締まるため。	普通選挙法の制定によって国民の政治参加が拡大する一方で、当時の政府はロシア革命の影響を受けた社会主義や共産主義の広がりを強く恐れました。そのため、国体の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社を取り締まる「治安維持法」をセットで制定し、民衆の動きをコントロールしようとした。これは「アメとムチ」の政策とも評されます。
問10	答え 4 桂太郎	桂太郎は、長州藩出身で陸軍の支持を受けた人物であり、通算3回にわたり内閣を組織しました。しかし、3回目の内閣（第3次桂内閣）の際に第一次護憲運動が激化し、「閥族打破」を叫ぶ群衆の抗議を受けてわずか50日余りで総辞職することになりました。加藤高明はのちに普通選挙法を成立させた第2次護憲運動に関連する人物です。
問11	答え 2 多額の借金がある債務国から、他国に資金を貸し出す債権国へと転じた	第一次世界大戦中に輸出額が激増したことで、日本には多額の外貨が流入しました。これにより、明治以来続いていた外国への借金（債務）を返済し、逆に外国へ資金を貸し付ける「債権国」へと劇的な変化を遂げました。この時期、造船業や製鉄業などの重化学工業も大きく発展しました。
問12	答え 4 陸軍・海軍・外務大臣以外のすべての閣僚を、衆議院の第一党であった立憲政友会の会員で組織したため。	それまでの内閣は、特定の藩出身者が権力を握る「藩閥政治」の色彩が強いものでした。原敬は、議会で多数の議席を持つ立憲政友会のメンバーを中心に閣僚を構成することで、議会の意思を反映しやすい政治体制を確立しました。なお、普通選挙法が成立したのは、原敬の死後である1925年の加藤高明内閣のときです。
問13	答え 4 立憲政友会を基盤とし、閣僚の多くを衆議院に議席を持つ政党员で構成した。	それまでの藩閥出身者が交代で政権を担う仕組みとは異なり、選挙で選ばれた国民の代表が集まる衆議院の第一党を基盤とした点が画期的でした。これを「本格的な政党内閣」と呼び、大正デモクラシーの進展を象徴する出来事となりました。